

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200082
事業所名	グループホーム たのしい家名古屋南

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し回覧板等で地域の情報を得ている。コロナ禍により地域行事の参加やボランティアの受け入れ、日常の散歩も自粛している。事業所から地域への情報の発信も行われていない。現在は洋菓子店や和菓子屋、お米屋、お弁当など近隣の商店を利用するようにして地域との繋がりを深めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、自治会長、いきいき支援センター、会社責任者等で書面により2か月に1回開催し事業所の現状報告やサービスの実施状況、身体拘束の報告を議題とし、地域からの情報も得ていたが、コロナ禍や管理者交代に伴い対面での開催や文書開催を含めても運営推進会議は行われていない。	評価 ×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） コロナ禍により役所に直接行く事は少なく、FAXやメールでの連絡や情報交換をしている。認定書類や申請書類の代行業務や報告業務、事例相談等で担当窓口を訪れた際には事業所の状況を伝え、指導や助言を得るなど、協力関係を築いている。また、行政や地域包括支援センターから案内のある研修は職員に紹介している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々のケアの中で意見や要望を聞いている。コロナ禍により家族との面会が規制されているため電話等で情報交換をしている。最近ではコロナの感染状況により予約制で20分程度の面会の折に聞くように努め運営に反映させている。今まで毎月届けていたお便りを作成する機会が少なくなり、入居者の情報が家族に伝わりにくくなっている。	評価 ×
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	×									

【備考欄】

運営推進会議については、コロナ禍や管理者交代に伴い書面による開催も含めて現況実施されておらず、会議の意義や意味を再度認識し、地域との繋がりをサービスの質の確保或いは質の向上を図ることを目的として開催していくことが課題とされている。また、コロナ禍により面会規制がある中、入居者の情報が家族に伝わりにくくなっており、家族アンケートの結果も思わしくないため、ホーム便りの再発行に心がけ暮らしの様子を届ける工夫と努力が必要とされる。日々の散歩に力を入れた支援をしていたが、コロナ禍で留まっている。感染状況を確認し感染対策をしながら、日々の散歩の再開方法を職員で話し合い外気に触れる機会の確保が期待される。